

第1話

古代— 金属の誕生



元素たちの誕生

地球にまだ、十分な酸素もないころ、あらゆるものの元となる「元素」が数多く誕生した。

元素のなかには、金属界といわれる世界に存在したものもあった。



多くの元素たちは、天敵ともいえる酸素やイオウに捉えられ⁽¹⁾、現在の姿とは大きくちがっていたが、将来、非鉄金属王国の女王となるゴールドだけは、酸素やイオウなど、ほかの元素に影響されることなく、美しい輝きを放っていた。

ただ、地球の地殻変動などの影響によって、ゴールドの体はあちこちに散らばってしまっており、よく見ないと本当の美しさが分からなかったため、ただ静かに隠れ潜んで生活していたのだった。



(1)

そんなゴールドの近くには、将来、非鉄金属王国の王子となるシルバーや将軍となる銅も存在していたが、彼らもまた、イオウに捉えられていた。

なかには、イオウの目を逃れて、本来の姿を見せるシルバーの元素や銅の元素もあったが、すぐにまた、イオウに捉えられてしまうのだった。



「古代7金属」の登場

……それから、どのくらい経ったころだろう。人類が登場し、人間界に火を自由にあやつれる能力を持つものが現れたことで、金属が活躍できる時代が訪れる。火の力を使うことにより、体が散らばっていたゴールドやイオウに捉えられていたシルバー、銅パーをはじめ、いくつかの金属たちがその姿を現すことができるようになったのだ。

かくして、ゴールドは、シルバーや銅パーたちとともに、非鉄金属王国を建設し、人間界と金属界は、お互いに能力を認め合いながら、共存することになっていく。

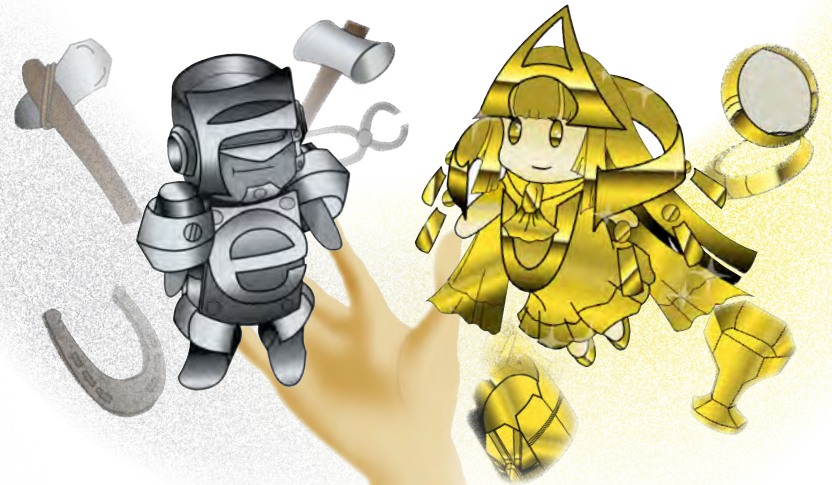
はじめに、人間界で活躍した金属は、「古代7金属」と呼ばれる仲間たちだった。

非鉄金属王国の女王ゴールド（金）、ゴールド女王を支える王子のシルバー（銀）、將軍の銅パー（銅）、学者の鉛、魔法使いの水銀、縁の下の力持ち錫（すず）。そして、強大な力を持つことになる鉄王国の王アイアン（鉄）である。



アイアン（鉄）による鉄王国は非鉄金属王国よりも少し遅れて建設された国だったが、その量の多さでみるみる国を拡大。金属の王としての地位を築き、人間界の東洋と言われる国では、「鐵」と表記され、長い間、金属の王として君臨していくことになる。

鉄王国と非鉄金属王国は、それぞれ独自の道を進んだり、お互いに協力し合ったりという関係を保ちながら、人間界との共存を楽しんでいくことになる……。



KEYWORD
鉛博士
の
「これってなに？」

！ 「金属が酸素やイオウに捉われる」とは？

銀、銅、亜鉛、鉛などの金属元素は、大気にある酸素やイオウと強く結びやすく、すぐにくっついてしまいます。

！！ 非鉄金属とは？

鉄以外の金属元素の呼び方です。金・銀などの貴金属、鉛・錫・亜鉛などの重金属、アルミニウムなどの軽金属などが、その仲間です。